

金重 尹郎 陶芸教室

縄文土器にチャレンジ

赤穂市文化協会主催事業

皆さんよくご存じの縄文土器 これっていざ作ってみると、実は大変な技(匠)によってできていることがわかります。皆さんも縄文人にタイムスリップして縄文土器をつくるみませんか?

あらかじめ用意してある器(花瓶か植木鉢から選択)に彫刻刀などで線刻や粘土を付け足したりして縄文模様を施していきます。出来上がった作品は原始的な薪窯で焼成します。

注)粘土を貼り付ける場合、付着が不完全になると乾燥時や焼成時に剥がれたりする場合があります。丁寧な作業を心がけてください。

- 開催日時 2026年1月31日(土)・2月1日(日)
- 開催場所 赤穂市民会館 第4会議室
- 参加資格 小学生以上
- コース・時間 1月31日(土)・2月1日(日) 共通
Aコース 9:00~11:30 · Bコース 12:00~14:30 · Cコース 15:00~17:30
- 定員 各コースとも15名
- 参加費 大人 ¥4,500- · 小中高生 ¥3,000-
- 備考 現代では貴重な薪窯での焼成となりますので、各々焼け成りが異なります。ご理解とご了承をお願い致します。
- 申込み コースと器(花瓶か植木鉢)を選択し、参加料を添えて開催日の3日前までに赤穂市民会館にお申し込みください。
赤穂市民会館 ☎ 0791-43-7450 (FAX 43-8440)
- 準備物 彫刻刀4本組と粘土ベラ(ともに百均で売っています。)
その他各自工夫した用具・タオルをご持参下さい。



講師 金重 尹郎 (かねしげ ただお)

1947年備前市生まれ。備前焼の中興の祖とされる金重陶陽の甥で、備前焼の巨匠といわれる金重素山の次男。東京芸術大卒業後、京都亀岡を拠点に現代美術家として陶芸・彫刻・版画・コラージュなど美術全般における創作活動を行っている。

